

体験農園等による食と農が持つ癒し機能の効果的な発揮に向けて

重要性が増している都市や都市近郊における持続的で多様な農業の役割(体験農園による都市住民の健康増進、日本型CSAによる地産地消拡大効果、都市型農業公園による災害対応等の多面的機能等)について、理念的・定量的に整理し、今後必要な施策を解明するための研究を、農林水産省・農林水産政策研究所との連携研究の枠組みの中で、千葉大学の食と緑の健康創成学講座を中心に、全部で7つの大学・研究機関でコンソーシアムを形成して実施することとなりました。

本セミナーは、こうした研究を開始するにあたって、この分野における研究のこれまでの到達点を整理した上で、これからの研究の方向性を示すことを目的に開催します。

2023 参加費 無料
1/11(木)
14:30~17:15

参加資格 どなたでも参加できます。

開催方法 現地参加、オンライン参加可能なハイブリッド開催

会場 千葉大学松戸キャンパス・100周年記念戸定ヶ丘ホール
千葉県松戸市松戸648



アクセス

- JR常磐線・新京成線 松戸駅 東口より徒歩15分
- JR総武線 市川駅より京成バス「松戸営業所」又は「(矢切経由)松戸駅」行きに約30分乗車、「小山」バス停で下車後、徒歩5分

開催内容

司会：江頭 祐嘉合 (千葉大学)

【第1報告】 齋藤 雪彦 (千葉大学)

研究プロジェクトの紹介
— 都市農業と体験農園の現在地から —

【第2報告】 岩崎 寛 (千葉大学)

緑を活用した地域ケアの取組

【第3報告】 吉田 行郷 (千葉大学)

ユニバーサル農園の現状と今後の可能性

【第4報告】 岡村 毅

(東京都 健康長寿医療センター研究所)

認知症高齢者のための
ケアファームの医学的効果

【第5報告】 渋谷 雅史

(NPO法人 土と風の舎)

「こえどファーム」における
園芸福祉の展開



お申込はこちらから ▶



このセミナーは、農林水産政策研究所の連携研究スキーム「我が国の持続的で多様な農業に関する研究」の2023年度事業の一環として実施します。

主催：千葉大学園芸学研究院

協力：農都共生総合研究所